

別紙1

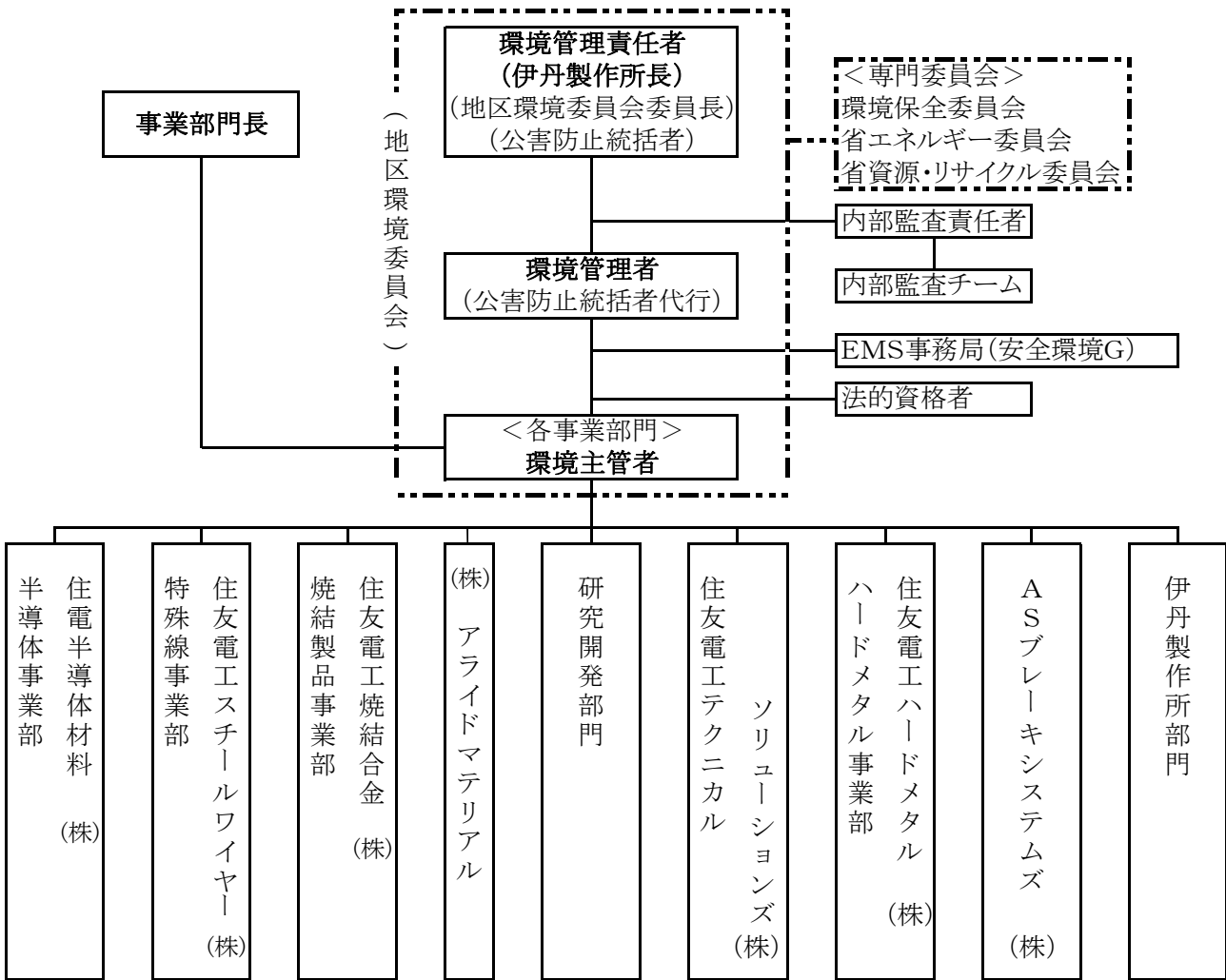
1 平成29年度環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

1. SEQCDD活動を強化する。S(安全) E(環境) Q(品質) C(コスト) D(物流・納期) D(開発)
 - ・計画的活動と継続的改善を行い、パフォーマンスを向上させる。
 - ・環境負荷の低減に配慮した次の活動に重点的に取り組む。
 - (1) 生産性向上及び高効率機器の導入とムダな動力排除による省エネルギーの推進
 - (2) 廃棄物排出量の削減と分別回収・有価物化による省資源・リサイクルの推進
 - (3) 汚染の予防
 - (4) 所内緑化の推進
 - *環境に配慮した製品の提供を拡大し、顧客要求への対応を進める。
2. 環境マネジメントシステム運用の強化と拡充を進める。
 - *ISO14001に基づく環境マネジメントシステムに従い、汚染の予防、環境負荷の低減、及びその継続的改善に努める。
 - *全従業員に対して環境方針を周知するとともに、環境保全に対する意識向上のための教育を実施する。
3. コンプライアンスの維持向上を進める。
 - *環境に関連する法令、条例、協定、その他の要求事項の順守はもとより、自主管理基準を設定しその維持・向上を図る。

1-2 環境保全活動に関する組織体制

環境保全組織図



別紙2

2 環境保全活動の実施状況等

項 目	指 標	基準年度	2016年度目標	2016年度実績	2016年度 実績と目標の差異分析及び今後の取組計画
エネルギーの削減。	エネルギー原単位(%)	2012年度	16%以上低減 (基準年度比)	8.0%(×)	＊生産性向上や設備改善に取り組んだが、構造改革の真っ只中という事もあり、 操業が不安定となり大幅な未達となった。 2017年度は更にハードルは上がるが、新たな改善ネタの仕込みや1人1人が 身近に出来る「スイッチの細かなオン・オフなど」ひとつひとつ地道に積み重ねて、 目標達成を目指す。 【目標】2017年度に、原単位で20%以上低減する。(2012年度基準)
廃棄物の削減。	ゼロエミ率 (%)	———	0.3%以下	0.00%(○)	＊廃棄物の排出削減、有価物化、リサイクル化の継続推進中。 【目標】2017年度、ゼロエミ率を通期で0. 3%以下にする。
	廃棄物原単位 (%)	2012年度	4%以上低減 (基準年度比)	3.7%(△)	【目標】2017年度に、原単位で5%以上低減する。(2012年度基準)
水使用量の削減。	水の使用量原単位(%)	2012年度	4%以上削減 (基準年度比)	7.1%(○)	＊漏れチェック等きめこまかな節水活動を展開中。 【目標】2017年度に、原単位で5%以上低減する。(2012年度基準)

別紙3

項 目	取 組 結 果	今後の取組計画
環境教育	＊環境ISO14001自覚教育(1回/年全従業員約2,500名に対し実施) ・教育内容 ①住友電工グループの環境活動について ②伊丹製作所の環境方針について ③各部門の目的・目標について ④地球環境問題について ⑤廃棄物の分別について ＊ISO内部監査員養成教育 ＊新任主席安全環境研修 ＊新任基幹職補安全環境研修 ＊新任統括職安全環境研修 ＊監督者養成講座 ＊指導者養成講座 ＊中途採用社員教育 ＊技術研修生教育 ＊工場安全・防災教育 ＊新任主代研修	環境経営の推進にあたり全従業員の環境意識の向上と環境知識のレベルアップを図ることが重要であるので、受講者にわかりやすく、効率良く継続的に実施して行く。
地域貢献活動	＊地域とのコミュニケーション ・稲荷祭 } 製作所を開放し地域の皆様や社員家族との交流の場になっている。 ・緑花祭 } ・市民活動「伊丹の自然を守り育てる会 森部会」に参画。 (1回/月 数名/回参加) ・伊丹市EMS監査に参画。 ・トライやるウィーク。(伊丹市内の中学生の受け入れ) ・伊丹製作所周辺清掃活動。(2回/年 約40名/回)	・地域住民や行政が行う環境行事に積極的に参加する。